

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	8	課題区分	C	令和8年4月2日	
横断的な課題	諏訪湖創生ビジョンの推進／ハケ岳・霧ヶ峰の豊かな自然と共生する地域づくり						
地域重点政策	ものづくり・観光・農林業振興					諏訪地域振興局	
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	滞在型観光促進PR事業				電話	0266-57-2955(直)2111(内)	
					E-mail	suwachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	滞在を通して体験できる諏訪地域の魅力を発信し、滞在型観光の促進と観光地消費額の上昇を目指す。					
	現状と課題	令和6年度実施イベントのアンケート結果から、諏訪地域は温泉や史跡のニーズがあり、「温泉宿でのんびり過ごす」ことを訪問目的とする人がいる。一方で、諏訪地域は県内の他地域に比べて県外客の割合は高いが日帰りが多く、一人当たりの観光地消費額が少ないという課題がある。これらを踏まえて、需要のある「温泉」を取り上げた魅力を発信し、諏訪地域への来訪意欲を喚起し、滞在型観光の促進と観光地消費額の向上を図る必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	温泉×歴史をテーマに宿泊を伴う来訪意欲を喚起するイベントを実施し、滞在型観光を推進する。 1 ワークショップ(体験)を交えたセミナーの開催 都心に住む50～60代をターゲットに、講師による諏訪地域の温泉を地質や歴史から紐解くセミナーや足湯体験等の諏訪地域の温泉体験を行い、諏訪地域への旅をより身近に感じていただくワークショップを銀座NAGANOで行う。 ・イベント名:「温泉のすゝめ～学んで・浸かって・味わう～」 ・日時:令和7年12月13日(土)1回目11:00～、2回目15:00～ ・内容:歴史の側面から諏訪の温泉を紐解く講演(講師:スワニズム 坂間雄司氏)/諏訪の温泉を使った足湯体験、/観光パンフレット・イベント限定MAPの配付、似顔絵のプレゼント 等 2 イベント参加後の効果測定 ・本イベントの参加が、参加者の諏訪地域への訪問意欲にどれくらい影響したか事後アンケートを実施する。					
	事業期間	令和7年7月 ～ 令和8年3月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	滞在型観光促進PR事業	講師報償費	60,500	講師手当(准教授級) 5,500円/h×11h=60,500円			
		講師旅費	12,380	交通費(岡谷-銀座)12,380円			
		職員旅費	91,832	交通費(～銀座)91,832円 ※宿泊費2名分含			
		消耗品代	7,668	ガソリン代、事務用品(ラミネート等)、用紙代等			
		委託費	211,000	ワークショップの内容構成及び当日の進行等			
		コピー機使用料	1,000	資料印刷			
合 計		384,380					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	イベント参加者数		40人以上	23人	☐ 達成 ☒ 一部達成 ☐ 未達成		
	参加者満足度(5段階中4以上)		89%以上	90%			
事業実績・成果	【事業実績】 参加者数:計23名(1回目:16名、2回目7名) 参加者満足度:アンケート回答者(21名)のうち、19名が大変満足、満足と回答。ターゲット層である50～60代(60代以上含む)は15名であり、この層の満足度は100%であった。 【成果】 ・銀座NAGANOでは初の試みとなる足湯体験を実施。イベント参加者は、当初40人以上を目標としていたが、前例の無い試みであることから保健所の許可取得に時間を要し、許可取得まで足湯体験の広報が難しかったことから、目標を下回った。 ・一方で、都心ではなかなかできない体験を提供することができ、満足度の高さに繋がった。アンケート(自由記述欄)には、「諏訪を知れてよかった」「足湯が気持ちよかった」「ぜひ足を運びたい」といった声が寄せられ、参加者から高い満足度が得られた。 ・本イベントは、諏訪地域で活躍する事業者と作り上げたものであり、参加者に事業者の活動を知ってもらうきっかけとなった。 ・任意で協力いただいた事後アンケート(イベント参加後の効果測定)では、回答があった3名のうち2名が実際にイベントで紹介した施設等を訪れており、小規模ではあるが事業の効果が出了。						
	今後の方向性	周遊と体験をテーマに食や歴史文化、温泉などの観光情報を紹介し、滞在型の観光を促進するため、引き続き銀座NAGANOにて観光PRイベントを実施する。					